総務財政委員会提出資料

福岡県立山田高等学校跡地
利活用推進協議会進捗状況について

平成30年2月27日
嘉麻市　地域活性推進課

1　福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会進捗状況について

【福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会委員名簿】

区分	団体名	氏名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原　徹	会長
	近畿大学産業理工学部	飯島　高雄	
2号委員	行政区長会	村上　曙生	
	行政区長会	山根　國治	
	山田高等学校同窓会	三舩　國弘	副会長
	山田高等学校同窓会	武谷　節夫	
	嘉麻商工会議所	中村　博美	
	嘉麻市商工会	冨金原　健三	
	社会福祉協議会	木山　淳一	
3号委員	公募委員	加藤　結花	
	公募委員	岸本　麻衣子	
	公募委員	美林　純子	

〈区分別、順不同、敬称略〉

1　福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会進捗状況について

【第1回協議会】

平成30年2月2日（金）
・委嘱書の交付
・会長及び副会長の選任
・諮問

写真1　諮問の様子
（左から　三舩副会長，井原会長，赤間市長）

▽福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会　諮問書

写

２９嘉地第６５４号
平成３０年２月２日

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会
会長　井原 徹　殿

嘉麻市長　赤　間　幸　弘

山田高等学校跡地利活用推進に伴う下記事項について、福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例（平成２９年嘉麻市条例第３４号）第２条の規定により、貴協議会の意見を求めます。

記

１　福岡県立山田高等学校の跡地の利活用推進計画（案）に関する事項。
２　その他福岡県立山田高等学校の跡地の利活用に関し、市長が特に必要と認める事項。

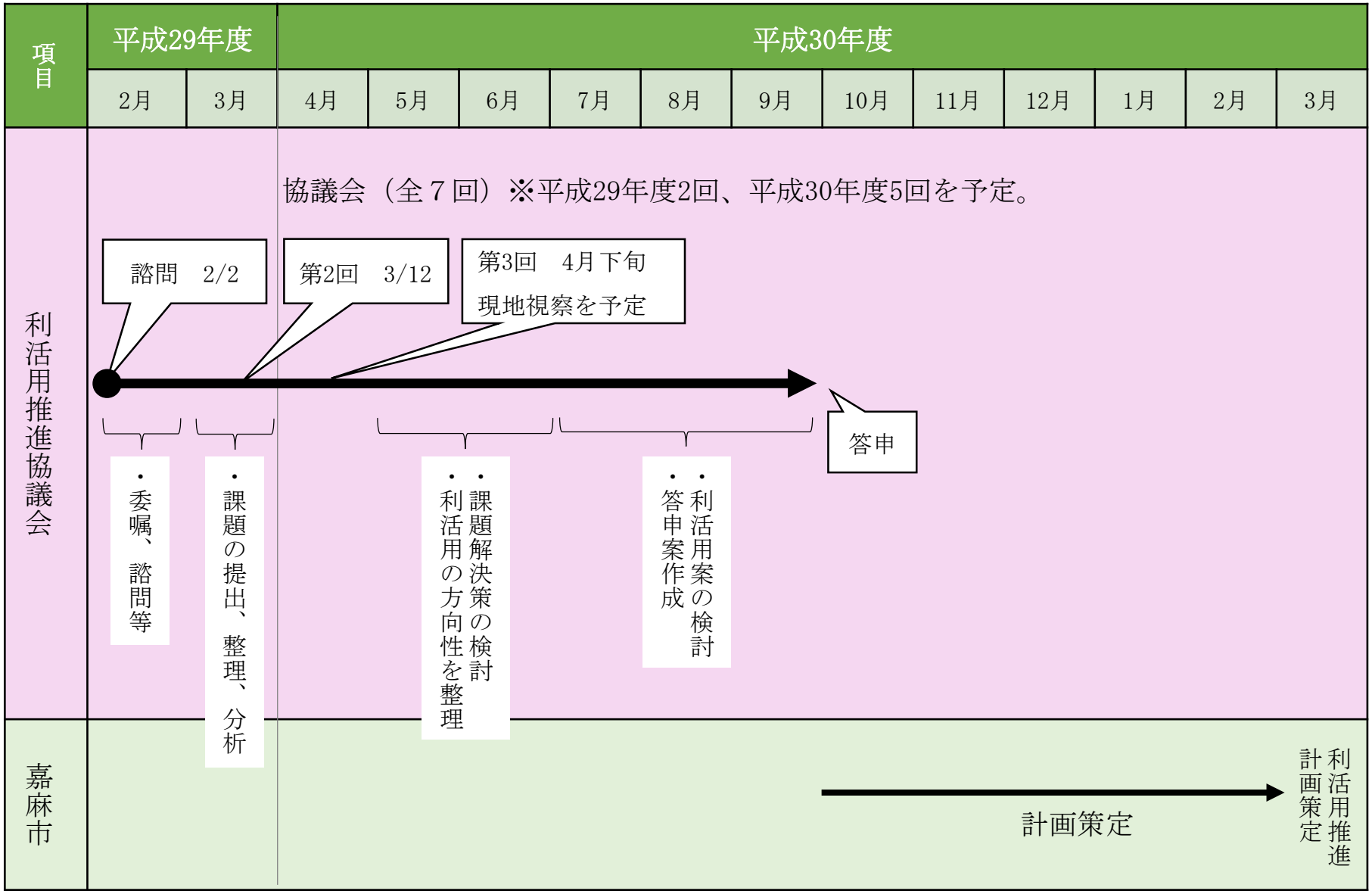
諮　問　理　由

平成１９年３月に福岡県立山田高等学校が廃校となり、跡地の利活用について検討を行ってきたところです。平成２１年５月の「嘉麻赤十字病院の充実と旧山田高等学校跡地の医療的活用に関する請願書」を受け、嘉麻赤十字病院と外来駐車場、移転先の候補地として協議を行ってきましたが、平成２９年２月に嘉麻赤十字病院から移転断念の報告を受けたところです。同年６月に嘉麻市山田高等学校跡地整備検討委員会を設置し庁内において検討を重ねておりましたが、平成２９年１１月の嘉麻市山田地域整備協議会の答申において、「旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。」と示されたことにより、協議会を設置し、旧山田高等学校跡地の利活用方法について、住民の方々と協議、検討を行うことといたしました。

市内各地域がそれぞれの特性をいかした地域づくりを進めている嘉麻市において、山田地域のほぼ中心に位置する、約４０，０００㎡の土地の利活用方法について、協議、検討いただくことは、山田地域のみならず、本市の将来のまちづくりを行う上で、重要な役割を担うものであると考えられます。

以上のことから、貴協議会におかれましては、実現可能なより良い旧山田高等学校の跡地利活用につきまして大所高所からの調査協議をお願いし、利活用推進の取り組みに対し、答申を賜りたく諮問する次第であります。

2　福岡県立山田高等学校跡地利活用に関する今後のスケジュール



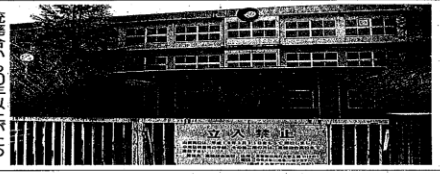
3　広報紙、新聞記事等の情報提供の状況について

旧山田高跡 活用議論へ
嘉麻市が来月、推進協設置

「山高（やまこう）」と親しまれ、2007年に64年の歴史に幕を閉じた県立山田高（嘉麻市上山田）の跡地活用に向けた議論が2月から始まる。病院移転などが検討されたこともあったが、進展せず、校舎などは手つかずのまま。市は地元住民や学識経験者らで構成する協議会を設置し、意見を集約した上で、来年3月までに推進計画をまとめる方針だ。

1943年創立の旧山田高は県内有数のサッカー強豪校として知られ、全国大会にたびたび出場。卒業生には劇作家の故つかこうへいさんや前NHK会長の籾井勝人氏らがいる。炭鉱閉山で生徒数が減り、県立高校再編の中で嘉穂工と嘉穂中央とともに統廃合され、嘉穂総合高（桂川町）が開校した。

09年には、近接する嘉麻赤十字病院の充実と山田高跡の医療的活用を求める請願が市議会で採択され、同病院を新築移転する方向で市側と協議を重ねたが、昨年2月、病院側から市に、移転断念の報告があったという。山田高OBの20代男性は「山田地区は県の中央で立地は決して悪くなく、跡地の面積も広い。企業進出で雇用や地域振興につながる活用になれば」と話した。



統廃合から10年以上がたつものの、利活用が決まらない旧山田高

跡地利活用の推進協議会は公募する市民委員（3人以内）と学識経験者、山田高同窓会など公共団体からの推薦者で構成。委託予定のコンサルタントの提案などを基に、来月上旬から9月まで6回程度の会議を重ねて、答申をまとめる。その後、市は推進計画を策定する。

市民委員は嘉麻市内に在住または在勤し、全会議に出席できる人が応募対象。締め切りは22日。問い合わせは市地域活性推進課☎0948（62）5677。（座親伸治）

※　平成３０年１月２０日（土）西日本新聞

山田高等学校の跡地の利活用方法について一緒に考えていきませんか？

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会の委員募集

山田高等学校が平成19年3月に廃校となり、現在10年が経過しています。今まで、嘉麻赤十字病院の職員駐車場や移転先等の検討も行ってきましたが、いまだ、利活用方法が決まっていない状況となっています。

山田地域の地域特性をいかした地域整備の在り方や、現在の庁舎周辺の整備方針等について協議を行った、山田地域整備協議会においても、「旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。」との答申（平成29年11月30日）をいただいています。

市では、この跡地について協議し、高校跡地の利活用を積極的に推進するため、福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会（以下「協議会」という。）を設置します。

協議会を設置するにあたり、下記の要件により「市民公募委員」を募集します。

▲現在の山田高校の外観写真です。

■ 募集要件等

募集人数	3人以内
会議開催の予定	開催回数／平成29年度2回（2～3月）、平成30年度4回（4～9月） 開催時間／平日の夜間を基本に2時間程度 ※協議内容及び会議の進捗状況等により開催回数や開催時間が変動する場合あり。
応募資格	次に掲げる要件をすべて満たしている人。 ①平成30年1月1日現在において20歳以上であること。 ②応募日現在において市内に居住、又は在勤していること。 ③任期終了（協議に係る事務が終了する時）まで、継続して会議に出席できること。
報酬等	「嘉麻市職員の特別職の給与等に関する支給条例」に基づき 報酬と費用弁償を支給します。（報酬 4,600円／回、費用弁償 1,500円）
応募方法	次の書類を持参、郵送、FAXまたはEメール（kassei@city.kama.lg.jp） ①応募用紙／地域活性推進課及び各庁舎総合窓口課総務係に備え付けています。 なお、市のホームページからもダウンロードすることができます。 ②小　論　文／テーマ：志望動機及び参加する上での自己PR
募集期間	平成30年1月4日（木）～1月22日（月）【必着】
選考方法	選考委員会において、市が定める委嘱基準及び公募実施規程に基づき、男女の構成比及び新規応募者の優先、更には他の附属機関との兼任状況を勘案して選考します。なお、選考結果は後日郵送にて応募者全員にお知らせします。

●申込・お問合せ／
地域活性推進課 ☎62－5677

市民の皆さんのご応募をお待ちしています！

25　H30.1月号,広報嘉麻

※　広報嘉麻１月号

山田高跡地活用を検討
嘉麻市 協議会発足へ 委員公募

利活用策が検討される県立山田高跡地

嘉麻市は、県立山田高跡地の利活用を検討する協議会を発足させる。「広く市民の意見を聞かせてほしい」と、委員を公募している。

跡地は、校舎や体育館などが残る約4万1000平方㍍の県有地。隣接する嘉麻赤十字病院の新築移転や駐車場の整備が検討されたが、資金面などを理由に白紙になった。

これを受け、市は跡地を地域活性化のために活用する方針を決定。協議会は学識経験者や住民代表、公募委員ら12人以内で構成し、9月までに6回程度の会合を重ね、市に利活用案を答申する。市は活用計画をまとめ、県に提出する。

公募委員は3人以内。20歳以上で市内に在住か在勤し、平日夜の会合に出席できることが条件。市のホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項や志望動機などを記入し、22日必着で応募する。

市地域活性推進課の小林純一課長は「市全体が発展していくためにも、市民の方々から様々な意見をいただきたい」と話している。問い合わせは同課（0948・62・5677）へ。

※　平成３０年１月６日（土）読売新聞